

# 市民の声

## 市政に思う

議会広報特別委員会は、4町が合併して2年9ヶ月経過した今、「市民の声」としてシリーズ物の特集を企画・掲載することにしました。4町の各種団体にお願ひし、市政等に対しての思いを書いていただきました。ご協力ありがとうございました。次回もご期待ください。

議会広報特別委員会

### 合併後の まちづくりを思う



江田島町区長会  
会長 田頭 俊弘

平成の大合併によって誕生した江田島市、早いもので今年11月で3年になります。これから市が歩みゆく長期総合計画も策定され、一步一步その成果を実績として確認しながら前に進んでいるように思えます。又、これとは裏腹に少子高齢化社会が予想を上回るスピードでやって来ているようです。育児支援・児童保育・義務教育・保健医療・高齢者介護といった対人サービスの需要は一段と高まり、要求されてきます。これらのサービスは、地域住民による協力的な展開でなければ成果は期待できません。

こうした、市を取りまく社会状況下のもとで、昨年10月、市自治会等連絡協議会が立ち上げられました。現状では旧町時代の考え方が先行する面が残っており、温度差があることとは否定できません。が、しかし持ちよった意見をディスカッションする過程でお互いの意思の疎通が図られ、やがては市民一人ひとりが同じ目的に向い協力できるものと確信しています。過去にあった時代のように住民の要望に応えて次々と公共サービスを展開していくことなど、およそ不可能

になってきています。我が江田島市も公共サービスの範囲を厳しく取捨選択し、家庭内の自助・地域社会の共助で解決できることは、家庭や地域社会の手に戻さなければならなくなっています。地域社会(自治会)の共助をもつても解決できないことを市役所に持ち込み、市役所による公助に期待するといった「補完性の原理」を徹底していく必要があると思います。何でもかんでも市役所に頼み込むことは、もうやめなければならぬ。まずは自分たちの力をもって解決する方法を見だし、作り上げ

### 元気を出そう 厳しい今こそ



能美町商工会  
会長 中島 勝

早いもので江能4町は合併して2年半を経過しましたが、正直言って良くなかった実感は一つもありません。しかし合併したから悪くなったとは思いません。国の三位一体改革の下で厳しい行政改革が断行されたからにはほかありません。商工業者はこれから進行する少子高齢化の厳しい現実をどう乗り切

るかが切実な問題です。「街の賑わいと活力は商人が作る」との意気込みで、今こそ元気を出して江田島市を飛躍させないといけません。それには、15万都市広島市との結びつきを強める事が何より重要だと思います。海上交通・市内バスの抜本改革が求められます。広島都市圏に至近距離の好立地を活かし交

流人口の増大を促進し、港の賑わいを創出する事が肝要かと思えます。「いつてらっしゃい。」「お帰りなさい。」観光客には「ようこそ。」「またお越し下さい。」と明るく笑顔の挨拶が溢れる港のターミナルをつくり上げれば良いと思います。この美しく、自然豊かな江田島市を沈没させる訳には参りません。商工業者

も連携して取り組みます。市議の皆様、どうぞ知恵と力を貸してください。



### あいさつ日本一を 目指して



大柿町柿浦小学校PTA  
会長 重長 英司

柿浦小学校では「あいさつ日本一」を目指して頑張っています。それとあいさつ日本一はコミュニケーションの第一歩だからです。気持ちの良いあいさつができればそこから始まる会話は順調に進んでいくことでしょう。自分の主張もでき、相手の言葉もしっかり聞くことができ、相手を受け入れ自分を理解してもらえれば円満な人間関係を気づいていけると思えます。円満な人間関係ができ

れば「いじめ問題」の軽減につながっていくと思えます。また、これを校外に広げていけば、地域の人たちが子どもたちのことを知り、登下校時の見守りにつながっていくと思っています。子どもたちの中には、恥ずかしがり屋さんとか引つ込み思案の子もいますが、みんな頑張っていることを褒めてあげたいです。子どもたちの可愛いあいさつが大人の心を和ませ、ひいては自分たちの安全を守ってくれるもの

と信じています。そして、もう一つ地域の伝統行事には積極的に参加をしようと言うことです。大柿では、七月の第三日曜日が一斉清掃ですが子どもたちにも参加を呼びかけるつもりです。地域の大人たちと一緒に汗をかく作業をしてみたいと思います。自分たちの住んでいる所をみんなきれいにすることによって、公衆衛生について学ぶことができます。楽しい行事としては、

盆踊り・祭り・島ひき鬼等いろいろありますが、積極的に地域の行事に参加してもらい、自分の生まれ育った地域を理解し、さまざまな体験を通して郷土を愛する心を育てたいと思います。



### 自治会の発足から 今日まで



沖美町老人クラブ連合会  
会長 川野 保

我が沖美町は昨年自治会が誕生し、新しく協力委員から班長に、名称が変更になりました。仕事の内容は従来どおり変わりません。主な行事は、公衆衛生推進 防火訓練(旧)小中の校庭清掃、敬老会各種企画会議等です。各会長をはじめ地域のことは、地域で協議して進めていくという観点から、掲示板を各所に設置し、ゴミ出しの分類等を

掲示しています。清掃道具置場は小屋を建て、市民の協力を得ております。昨年度から沖中学校が廃校。本年度沖小学校が廃校になり、鹿川小学校に統合となりました。子ども達は毎日元気よく能美バスで通学しています。自治会では、昨年より、沖小学校が廃校になったことから、各種団体の方々の協力で校庭の清掃をしております。沖中学校の

校庭に雑草が生え、5月の連休頃沖美支所長に連絡し自治会長と連携し除草し今日に至っています。合併し地域を良くするには我々市民ができることは自分達で、できないことは行政に依頼し地域社会のために少しでも貢献し江田島市を盛り上げましょう。沖地区は、本年度中町八幡神社祭礼当番になっています。各地区の宮総代の方、又、各自治会で



話し合い協力して祭礼を成功させようと思います。